浅口未来プロジェクト通信

自他との関わり合いの中で、生きる力を育む

令和３年11月17日
浅口市教育委員会
学校教育課
令和３年度　第13号

キラリと光る未来プロジェクト　社会に開かれた教育課程

一貫教育の視点で　国語の指導！

１１月２日(火)、市内の小・中学校の国語担当教員が集まり、「小中一貫教育に向けた令和４年度の教育課程づくり」について研修しました。

令和２年度から取り組んでいる新しい学習指導要領の重点項目の一つとして、地域や保護者の皆さんに指導計画を伝え、学校の授業や活動を公開し、その評価を受けて次年度の計画に活かしていく「社会に開かれた教育課程」の実施が、各学校に求められています。

本市では、その流れの中で小・中学校が、これまで以上に連携して一貫教育を推進します。小・中学校の担当者は、全国学力学習状況調査の分析等から、中学校区の児童・生徒の学力に関する課題を明らかにしていきます。そして、その課題克服のために、９年間で重点的に取り組む領域や内容を明確にして指導していく予定です。

来年度に向けてどんな準備をしていくか説明する指導主事[R3.11.2(火)]

キラリ４[教職員の協働のキラリ]

中学校区の社会科担当者の話合い R3.11.5(金)]

あさくち未来学　[案]

◇浅口市教育目標
　郷土あさくちを愛し、心豊かにたくましく　未来を拓く人づくり
◇浅口市「キラリと光る未来プロジェクト」の目標
　自他との関わり合いの中で、生きる力を育む　～　園小連携・小中一貫教育を通して　～
◇【　　】中学校区の目指す子ども像
◇【　　】中学校区の学び[名称]

学年	教科領域	国語	社会	算数・数学	
期	目指す姿				
後期	中３				
	中２				

一貫教育の視点で９年間の指導の重点をまとめる表

社会科、算数・数学部会も！

１１月５日(金)には、市内の小・中学校の社会科教育の担当者が、９日(火)には算数・数学科の担当者が集まりました。国語部会と同様に、各中学校区で、中学校卒業時の生徒の姿を想定して、小・中学校９年間の指導計画を考えました。

社会科は、中学校では、１，２年生で、地理的分野と歴史的分野を並行して指導しています。故郷の身近な素材を活用して学習し、公民としての資質を身に付けていけるように、小・中学校の教員が熱心に話し合いました。

算数・数学部会では、全国学力学習状況調査の分析等から、中学校区の特徴的な課題を明確にして、９年間で重点的に指導していく領域を確認し合いました。

３教科についても、中学校区で左表のようにまとめて、系統的な指導に取り組んでいきます。